



熟議を行いました

三中生徒16名、教職員16名、学校運営協議会委員20名で熟議を行いました。まず「あいさつの響き合う地域・学校・家庭づくりのために、それぞれの立場でできることを考えよう」というテーマでグループになって話し合いました。次に「地域のために『大人たちと一緒にしたいこと』『子どもたちと一緒にしたいこと』を考えよう」というテーマで意見を出し合いました。委員からは「直接話をするだけで、生徒さんの生の声が聞けて良かった」、学校職員からは「地域の方の、地域や生徒に対する温かい思いが伝わった」、生徒からは「いろいろな大人の人と話せて楽しかった。今日出た意見を生徒会活動に生かしたい」と感想を言っていました。

まずは相手の立場に立って考える。相手の考えを知るために対話をするということが大切なことだと感じました。出された意見をもとに、それぞれができることから取り組んでいけたらと思います。



アットホームなグループ討議



しっかりと発表する姿に感心！



メダカのプロに学ぶ

渡小の5年生が、外江町の「あらしまや」の佐々木圭さんにメダカの授業（理科）をしてもらいました。佐々木さんに持ってきてもらったメダカを自分たちで雄雌の判別をしたり、えさとなるミジンコを顕微鏡で観察したりと、教科書だけでは伝わらない、本物に触れる体験授業でした。

途中、佐々木さんは男の子たちに囲まれていました。きっと、プロに聞いてみたいことがたくさんあったのでしょうね。

三中で一緒にやるよ

外江小の4年生が、「外江のチョーサ祭り」を渡の人にも知ってほしいとポスターを渡小へ届けに行きました。お返しに渡小の4年生から去年収穫した伯州綿の種をプレゼントしてもらいました。これからも、いろいろな交流ができるといいですね。中学生になったら一緒に三中へ通う仲間ですからね。



ハイ、チーズ！

文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）